

しあわせおっぱい通信

岐阜県総合医療センター 中央放射線部 Vol.52 春号



病院 HP から
バックナンバーが
みれます

デンスブレストを知っていますか？



デンスブレストとは？

乳房は、乳腺と脂肪という組織で構成されています。乳腺とは、乳汁(母乳)を産生・分泌する組織です。デンスブレストとは「高濃度乳腺」のことで、乳房内の乳腺の割合が高い状態(乳腺組織がよく発達した状態)を指します。日本人女性の5~8割が該当するとされています。デンスブレスト自体は、異常ではありません。ただし、マンモグラフィ検査では、デンスブレストの場合、乳房全体が白く写るため、乳がんを発見しにくいと言われています。

デンスブレストはどんな人に多い？

乳腺濃度は個人差が大きく、年齢や体質、食生活、授乳経験やホルモンの状態で変化します。

日本人は欧米人に比較し、デンスブレストの割合が多いとされています。また乳腺が発達している若い世代もデンスブレストの可能性が高いです。

どんな検査があるの？

デンスブレストは乳腺が多く、マンモグラフィでは画像が全体的に白く写るため、同色に写る病変(乳がんなど)を見つけにくいいため、若い世代は超音波(エコー)検査をすすめられることが多いです。

3Dマンモグラフィ(トモシンセシス)撮影は、デンスブレストの診断精度の向上が期待されます。トモシンセシスとは、マンモグラフィ検査における新しい撮影技術です。1回の撮影で連続的にX線を照射し、圧迫面に平行に細かくスライスした断層画像が複数枚得られます。任意の断層面が表示できるため乳腺に埋もれた病変の発見に役立ちます。

当院でもFUJIFILM社製フラットパネル搭載型デジタルマンモグラフィ装置AMULETinnovarityを導入しており、トモシンセシス撮影を行うことができます。

当院のマンモグラフィ装置

